

わが国における漁船の燃油使用量とCO2排出量の試算

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 長谷川, 勝男
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010481

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



わが国における漁船の燃油使用量とCO₂排出量の 試算

長谷川勝男

わが国の動力漁船の隻数は約11万2千隻を数える。漁船漁業では燃油単価の高騰により経営状況は厳しさを増している。ここでは、漁業経営調査報告等を活用して漁船の総トン数階層別および漁業種類別の燃油使用量を推定した。動力漁船の総使用量は212万kl/年と試算され、トン数階層別では10～20トンと200～500トンの両階層の漁船の燃油使用量が突出して多かった。主要漁業種類ごとの燃料油由来のCO₂排出量を試算したところ、漁獲量の大きな網漁業は漁獲量当たりのCO₂排出量が小さい傾向であり、釣り漁業のうち遠洋まぐろはえ縄漁業と沿岸いか釣り漁業のCO₂排出量が6(t-CO₂/t)を越えて最も大きな値となった。また、水揚げ金額当たりでもこの両漁業のCO₂排出量が大きく試算された。

水産技術, 2 (2), 111-121, 2010